

## 英語外部検定試験の活用について

### 1 大学独自の入学試験での活用

大学独自の入学試験で英語外部検定試験を活用する場合、スコアを取得した期間の設定はしません（高校入学以前の取得スコアも有効）。なお、複数のスコアを取得している場合、最もレベルの高い一つのスコアを有効とします。

#### (1) 総合型選抜

エントリー時の志願者調書に記載された **CEFR** の **A2** レベル以上のスコアを、レベルに応じて評価します。

#### (2) 学校推薦型選抜（一般推薦）

推薦書に記載された活動実績において、**CEFR** の **A2** レベル以上のスコアを、レベルに応じて評価します。

#### (3) 一般選抜

出願書類の本人記載資料に記載された **CEFR** の **B1** レベル以上のスコアに対し、科目試験の合計得点に一定の得点を加点します。

### 2 大学入学共通テストを利用した入学試験での活用

大学入学共通テストを利用した入学試験においては、大学入学共通テストの英語（リスニングを除く）の受験を必須としたうえで、英語外部検定試験のスコアも活用します。この場合、英語外部検定試験のスコアを取得した期間等については、大学入試センターが成績を提供するルールにしたがいます。

ただし、英語外部検定試験のスコアの取得は出願要件とはしません。

具体的には、英語外部検定試験のスコアを **CEFR** のレベルに応じて点数化し、大学入学共通テストの英語の得点と合わせて **200** 点満点に換算します。